

山理事一号
2026年4月〇日
(公印省略)

会員各位

一般社団法人山口県理学療法士会
会長 道祖 悟史
学術誌編集委員長 川端 悠士

学術誌「理学療法やまぐち第4巻」の刊行について

このたび、本会学術誌「理学療法やまぐち」が刊行されました。第4巻には山口県理学療法士会員が執筆した研究論文1編、実践報告1編が掲載されています。

- 米田 優紀子 (JA 山口厚生連周東総合病院)
人工股関節全置換術後の自覚的脚長差と歩行時の隣接関節痛との関連性
- 木下 貴文 (みずほ内科クリニック)
「認知症にやさしいまちづくり」のための認知症カフェの現状と課題、そして今後の展望

掲載された論文が皆様方の日々の臨床場面に還元されることを願っております。掲載論文は以下の URL および QR コードから閲覧できますので、是非ご覧ください。

最後に理学療法学として意義ある論文をご執筆いただきました方々、ならびに査読をお引き受けいただいた方々に深く感謝申し上げます。論文は現在のみならず、将来の臨床家や研究者、社会においても有益な情報となる可能性を秘めております。会員の皆様におかれましては、後世においても利用される情報を残す手段として、そして認定・専門理学療法士資格の更新の一手段として、「理学療法やまぐち」をご活用ください。多くの投稿をお待ちしております。「理学療法やまぐち」への論文投稿の方法につきましては県士会ホームページにてご確認ください。

J-STAGE 理学療法やまぐち

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ptyamaguchi/4/0/_contents/-char/ja

